



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東  
 コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>  
 代表者(役職名)代表取締役社長 (氏名)布山尚伸  
 問合せ先責任者(役職名)執行役員管理部門担当兼経営戦略室長 (氏名)松浦良典 (TEL) 06-6539-2718  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	51,080	17.9	2,133	68.2	2,902	96.0	2,060	104.5
2022年3月期第1四半期	43,329	24.8	1,268	88.4	1,480	81.3	1,007	2.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,234百万円(95.3%) 2022年3月期第1四半期 1,144百万円(△42.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	82.50	—
2022年3月期第1四半期	39.92	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	139,052	78,725	56.6
2022年3月期	135,172	77,240	57.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 78,725百万円 2022年3月期 77,240百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	97,200	6.7	3,150	15.6	3,500	13.6	2,390	10.4	95.68
通期	195,000	0.8	6,750	0.6	7,350	△0.8	5,000	△2.8	200.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	25,025,242株	2022年3月期	25,025,242株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	46,908株	2022年3月期	46,888株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	24,978,344株	2022年3月期1Q	25,237,749株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症の対応が緩和されたことで、経済活動は持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢に端を発する資源価格の高騰、継続する半導体をはじめとした部材需給の逼迫などにより、経営環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況下にあつて、当社企業グループは、中期経営計画「NEW C.C. J2200」は2年目を迎え、来るべき未来社会に選ばれる技術商社として、ロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズへのシステム対応や3Dプリンターによる新しいものづくり技術の普及に向け引き続き取り組むと共に、利益生産性の向上を図るべくデジタル化を推し進めて業務の合理化・効率化にも取り組んでおります。また、製品の納期が長期化する中でお客様への供給責任を果たすべく、在庫確保・拡充に取り組むとともに、お客様の需要動向を的確に捉えた販売活動に引き続き注力してまいります。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高510億80百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益21億33百万円（前年同期比68.2%増）、経常利益29億2百万円（前年同期比96.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億60百万円（前年同期比104.5%増）と第1四半期としては過去最高の結果となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

#### 〔FAシステム事業〕

売上高：245億22百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益：9億42百万円（前年同期比3.5%増）

FA機器分野では、半導体製造装置関連や物流関連等の設備投資は好調で、プログラマブルコントローラー、配電制御機器は堅調に推移したものの、海外でのロックダウンや半導体不足による部材納期の影響を受け、インバーター、ACサーボは減少しました。産業機械分野では、補助金効果によりレーザー加工機、放電加工機が大きく伸長しました。産業デバイスコンポーネント分野では、子会社で接続機器等の販売が好調に推移するとともに、タッチパネルモニターも大きく伸長しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比5.3%の増加となりました。

#### 〔半導体デバイス事業〕

売上高：215億9百万円（前年同期比38.8%増）、営業利益：12億15百万円（前年同期比182.8%増）

半導体デバイス事業では、上海ロックダウンで部材の調達が滞り、一部製品の確保に奔走しましたが、依然高水準な需要が継続しており、マイコン、ロジックIC及びメモリーなどが大幅に伸長するとともに、海外においても日系企業向けを中心に大きく伸びました。電子デバイス分野では、液晶パネルの底堅い需要が継続するとともに、コネクタなどの接続部品並びにセンサー応用品が大幅に増加しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比38.8%の大幅な増加となりました。

#### 〔施設事業〕

売上高：37億9百万円（前年同期比10.6%増）、営業損失：29百万円（前年同期は48百万円の損失）

施設事業では、継続する部材需給逼迫による影響により、空調機器は伸び悩みました。一方、物流関連向けの需要は依然強く、昇降機やLED照明が好調に推移しました。また、堅調な戸建ての新築及びリニューアル需要を受けて、エコキュート、電気温水器等の住設機器が大幅に伸長し、受配電設備も大きく伸びました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比10.6%の増加となりました。

#### 〔その他〕

売上高：13億39百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益：4百万円（前年同期は23百万円の損失）

MMS分野では、立体駐車場向け部材の増加が売上に貢献しました。EMS分野では、部材不足の影響を受け、家電向け液晶基板ビジネスが大幅に増加しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比14.1%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて38億80百万円増加の1,390億52百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加32億20百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて23億94百万円増加の603億27百万円となりました。この主な要因は、短期借入金の増加21億18百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14億85百万円増加の787億25百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加13億11百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,223	14,443
受取手形、売掛金及び契約資産	64,397	63,736
有価証券	100	100
棚卸資産	26,571	27,625
その他	4,379	5,067
貸倒引当金	△59	△58
流動資産合計	106,612	110,914
固定資産		
有形固定資産	5,596	5,573
無形固定資産	551	536
投資その他の資産		
投資有価証券	20,429	19,973
退職給付に係る資産	1,021	1,018
その他	1,047	1,121
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	22,412	22,027
固定資産合計	28,560	28,138
資産合計	135,172	139,052
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,043	43,367
短期借入金	4,944	7,062
未払法人税等	2,008	988
賞与引当金	1,284	760
その他	4,569	5,132
流動負債合計	54,850	57,311
固定負債		
長期借入金	103	99
退職給付に係る負債	656	655
その他	2,321	2,260
固定負債合計	3,081	3,016
負債合計	57,932	60,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	58,965	60,276
自己株式	△58	△58
株主資本合計	70,927	72,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,370	5,129
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	524	964
退職給付に係る調整累計額	414	389
その他の包括利益累計額合計	6,312	6,486
純資産合計	77,240	78,725
負債純資産合計	135,172	139,052

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	43,329	51,080
売上原価	37,634	44,131
売上総利益	5,694	6,948
販売費及び一般管理費	4,426	4,815
営業利益	1,268	2,133
営業外収益		
受取利息	21	20
受取配当金	152	172
為替差益	6	531
その他	45	63
営業外収益合計	226	788
営業外費用		
支払利息	5	9
その他	8	9
営業外費用合計	13	19
経常利益	1,480	2,902
特別損失		
投資有価証券評価損	18	—
特別損失合計	18	—
税金等調整前四半期純利益	1,462	2,902
法人税等	454	842
四半期純利益	1,007	2,060
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,007	2,060

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,007	2,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	△240
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	361	439
退職給付に係る調整額	△27	△25
その他の包括利益合計	136	173
四半期包括利益	1,144	2,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,144	2,234
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	22,368	9,847	3,354	35,570	752	36,322	—	36,322
アジア他	930	5,654	—	6,584	421	7,006	—	7,006
顧客との契約から 生じる収益	23,298	15,501	3,354	42,154	1,174	43,329	—	43,329
外部顧客への売上高	23,298	15,501	3,354	42,154	1,174	43,329	—	43,329
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	23,298	15,501	3,354	42,154	1,174	43,329	—	43,329
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	910	429	△48	1,291	△23	1,268	—	1,268

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	23,636	13,730	3,709	41,076	1,154	42,231	—	42,231
アジア他	885	7,778	—	8,663	185	8,848	—	8,848
顧客との契約から 生じる収益	24,522	21,509	3,709	49,740	1,339	51,080	—	51,080
外部顧客への売上高	24,522	21,509	3,709	49,740	1,339	51,080	—	51,080
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	24,522	21,509	3,709	49,740	1,339	51,080	—	51,080
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	942	1,215	△29	2,129	4	2,133	—	2,133

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。